

福島県青少年会館 事業実施状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

青少年会館の運営にあたっては、さまざまな社会環境の変化を踏まえながら、青少年の健全育成活動を推進し、心身ともに明るく活力ある健康な青少年の育成に寄与するよう努めました。

特に、平成27年度は、青少年活動の拠点施設として、当館入居団体やボランティア活動を推進する団体などとの連携のもとに情報の共有化を図り、様々な問題を抱える子どもたちやその保護者らを応援する取組みを推進し、広く県民に青少年健全育成に対する理解が深まるよう努めました。

また、少子化対策と子育て支援の観点から、福島県からの受託事業である「ふくしま結婚・子育て応援センター事業」に取り組み、結婚から子育てまでの様々なサポート拠点として、若者や子育て世代に適切なサービス提供に努めてまいりました。

さらには、青少年のより一層の利用向上を図りながら、施設利用の効率化と利用者の満足度の向上のため、親身で心のこもった「あったかサービス実践運動」を展開しながら、財政基盤の強化に向けて、安定経営に努めました。

1. 青少年会館管理運営事業

(1) 施設利用の促進

青少年活動のための活動拠点として機能を発揮するため、青少年団体をはじめ学校、文化・スポーツ団体、一般団体を対象に利用促進を働きかけました。

また、「青少年の低額利用料金を支える一般利用料金」の考えのもとに、一般の方にも広く利用を働きかけるとともに、満足度の向上をめざし、施設利用者に対して「利用者アンケート」を実施してまいりました。

その結果、特に一般の宿泊者について、前年度実績を上回ることができました。

さらには、杉妻学習センターをはじめ、近隣の施設や事業所との連携を深め、協力体制を築きながら利用促進を図りました。

なお、会館の地域性、公益性を考慮して福島県立医科大学附属病院の利用者や子育てファミリーに対する宿泊割引制度を実施しました。

(2) 業務の見直しによる経費の節減等

サービスの低下にならないよう配慮しながら、業務全般について見直しを行い、経費の節減に努めました。

特に、施設設備保守管理等の委託業務については、前年度同様、可能な限り職員で対応することを前提に業務内容を見直して経費の節減を図りました。

(3) 施設設備の維持補修

施設設備改修計画に基づき、施設の現況把握と改修財源の計画的確保に努めるととも

に、利用者の安心・安全を確保することを優先に、施設の改修を計画的に実施しました。

(4) 経営計画の実行について

当館に求められる新たな役割及び経営の安定化といった観点から、平成25年度から実施している経営計画に基づき施設を運営しました。

2. 講演会・研究集会事業

青少年健全育成セミナー

青少年を取り巻く社会・環境の変化、大震災、原発問題などが青少年に大きな影響を与えている状況を踏まえ、それらに対する親の心構えなどについて考えるためのセミナーを、一般県民を対象に福島県青少年育成県民会議と共催で開催しました。

事業名	青少年健全育成セミナー（大人が変わるためのセミナー） 『思春期から青年期』の親の心構え
対象者	① 青少年育成に関心のある方や現在子育てにあたっている方 ② P T A、地域団体、地域活動連絡協議会及び青少年育成団体の指導者など
主な内容	<p>第1回 日時 平成27年 6月15日（月） テーマ 「子ども・若者の育ちと周囲のかかわり」 会場 福島県青少年会館 講師 福島大学人間発達文化学類 教授 角間陽子 氏 出席者 46名</p> <p>第2回 日時 平成27年 7月25日（土） テーマ 「青少年問題を抱える家族へのアプローチと対策」 会場 福島県青少年会館 パネリスト 福島保護観察所監察 熊坂律子 氏 NPO法人ビーンズふくしま理事 中鉢博之 氏 コーディネーター 福島県総合相談センター前相談員 根本文弘 氏 出席者 44名</p> <p>第3回 日時 平成27年10月17日（土） テーマ 「あなたはいまほほえんでいますか」 会場 棚倉町立図書館 講師 NPO法人りょうぜん里山がっこう元事務局長 小林 誠 氏 出席者 48名</p>

	第4回 日時 平成28年 2月20日(土) テーマ 「心の健康づくりは楽しい食事から」 会場 福島県青少年会館 講師 福島市介護認定審査会委員 植松みち子氏 出席者 30名
--	--

3. 情報収集、提供事業

(1) ホームページの利活用と促進

県内の青少年団体をはじめ、広く一般県民に青少年の社会参加活動や青少年活動に関する各種の情報を提供するとともに、当館の利用促進の一助とするため、福島県青少年育成県民会議と共同で、ホームページを活用した情報提供を行いました。

また、より新鮮な情報を提供するため、関係機関や団体との連携を密にしてタイムリーな情報提供に努めました。

(2) 常設展示コーナーの設置

当館のロビーを活用して中・高校生などの作文、絵画、書道などの作品を掲示するコーナーを無償で提供しました。

また、青少年団体の活動や青少年を対象とした各種イベントや事業案内なども広く掲示することにより、県民への青少年活動に対する理解と啓発を進めました。

(3) 各種活動の企画及び指導者等紹介あっせん事業

各団体が開催する地域活動、青少年の育成活動、レクリエーション活動の支援として、関係機関や団体と連携して企画のノウハウの提供、講師や指導者の紹介、あっせんなどを行いました。

- ・「大人への応援講座」講師の紹介
- ・各種レクリエーション活動の指導者の紹介
- ・青少年関係相談窓口の紹介 など

4. 青少年健全育成事業

(1) ふれあい キッズ・プログラム

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、特に大震災、原発問題を抱える福島の子どもたちに対して、心の不安を解消し、地域・家族の絆を取り戻すため、子どもと保護者が一緒になって楽しみ、交流を深める場として「ふれあい キッズ・プログラム」を開催しました。

開催に当たっては、福島大学児童文化研究会をはじめ、福島県青少年育成県民会議のほか趣旨に賛同する機関や団体などと連携して開催しました。

事業名	ふれあい キッズ・プログラム
対象者	子どもとその保護者や家族、各種青少年団体の関係者
主な内容	<p>〈フェスティバルプログラム〉</p> <p>日時 平成27年10月25日(日) 10:00~15:00 会場 福島県青少年会館 参加者 2,500名 内容 各種の体験コーナーを屋内、屋外で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわくひろば(福島大学児童文化研究会) ・ミニSLに乗車しよう(信夫の杜鉄道) ・なりきりパイレーツ(福島南子ども劇場) ・あそびにおいでよ(ガールスカウト福島県連盟) ・わくわくスカウト技能体験(ボーイスカウト福島連盟) ・室内ゲームコーナー(福島県レクリエーション協会) ・アートコーナー(福島大学美術研究会) ・バルーンアート(みちげ) <p>〈お出かけプログラム〉</p> <p>福島大学児童文化研究会が浜通りや会津方部などに出かけて、公演を実施するとともに来場者との交流を深めた。</p> <p>○平成27年度人形劇部夏期巡回公演</p> <p>〔日時:平成27年 8月17日(月) 会場:古殿町勤労者体育センター 参加者:60名〕</p> <p>〔日時:平成27年 8月18日(火) 会場:さめかわこどもセンター 参加者:100名〕</p> <p>〔日時:平成27年 8月20日(木) 会場:やまつりこども園 参加者:50名〕</p> <p>〔日時:平成27年 8月21日(金) 会場:天栄村生涯学習センター 参加者:20名〕</p> <p>〔日時:平成27年 8月22日(土) 会場:鏡石町公民館 参加者:60名〕</p> <p>〔日時:平成27年 8月23日(日) 会場:西郷村文化センター 参加者:30名〕</p> <p>○キッズフェスティバル</p> <p>4部(影絵・人形劇・童話・リズム)で公演を行いました。 日時:平成27年11月14日(土)</p>

	会場：福島市信陵学習センター 参加者：55名 ○どんぐり公演2015 4部（影絵・人形劇・童話・リズム）で公演を行いました。 日時：平成27年12月13日（日） 会場：郡山市日和田公民館 参加者：40名
--	---

(2) よろず寺子屋相談事業 [新規]

夏休み及び春休みの子どもたちの学習や課題の疑問点の解決に取り組む学習支援事業と、専門的な相談員を配置し、保護者を対象とした学習や日常の問題点などの相談事業を行いました。併せて、福島県レクリエーション協会と連携し、室内ゲームコーナーも開設いたしました。

事業名	よろず寺子屋相談事業
期日	(夏休み) 平成27年7月25日(土)～31日(金) (春休み) 平成28年3月26日(土)～27日(日)
会場	福島県青少年会館
主な内容	(夏休み) 学習及びレクリエーション参加者 22名 相談者 3名 (春休み) 学習及びレクリエーション参加者 17名 相談者 3名

(3) 青少年健全育成助成事業 [新規]

青少年の健全育成を目的に青少年を対象として行う事業のうち、青少年会館を拠点として、宿泊体験や社会体験活動、自然体験活動などのプログラムを展開する団体を公募し、活動経費の一部を助成いたしました。

事業名	青少年健全育成助成事業
対象者	子ども会や各種少年団体など
主な内容	青少年団体が行う各種体験活動には10万円を限度に、青少年指導者等の研修会やセミナーには5万円を限度に助成金を交付 交付団体 3団体 助成金総額170,000円

(4) 福島っ子ガンバレ（レクリエーション普及事業） [新規]

震災と原発事故により不安やストレスを抱える福島っ子に『元気と笑顔』を届けるため、子どもたちが交流を深めながらレクリエーション活動の普及と推進のため「福

島っ子ガンバレ」事業を行いました。

事業名	福島っ子ガンバレ
期日	第1回 平成28年3月5日(土) 第2回 平成28年3月6日(日)
対象者	小学生から保護者など
主な内容	第1回 マンカラ交流選手権大会 参加者 41名 内容 マンカラをベーシック部門とカラハ部門方式によるトーナメント戦を行いました。 第2回 チャレンジ・ザ・ゲーム記録会 参加者 19名 内容 グループで交流しながら、遊び感覚で体を動かし、楽しさや達成感を味わうことのできるスポーツレクリエーションを行いました。

(5) 地域活動モデル事業

○すぎのめこども宿

地域の子どもたちが、青少年会館に寝泊まりしながら、地域ぐるみの子育て、日常生活における共同作業の重要性について地域ぐるみで考える事業を実施しました。

当該事業は、平成14年度から実施しているもので、当会館はじめ、福島市杉妻学習センターや福島市杉妻地区青少年健全育成推進会が主催し、ボランティアスタッフなどが実施主体である「すぎのめこども宿実行委員会」に加わり、事業を展開いたしました。

事業名	すぎのめこども宿
主催	福島県青少年会館 福島市杉妻学習センター 福島市杉妻地区青少年健全育成推進会
対象者	杉妻小学校 5～6年生
期日	平成27年7月22日(水)～7月24日(金) 2泊3日
会場	福島県青少年会館、福島市杉妻学習センター
参加者	小学生5～6年生 32名(男子12名、女子20名)
主な内容	親元を離れ、食事の準備・洗濯・清掃等の基本的な生活はもとより、自主的に学習などを行いながら、3日間を青少年会館で生活し、いろいろな体験活動を行いました。 また、小学生の時から男女共同参画に関しての理解と興味を深めるためのプログラムも行いました。

○青少年の城ふくしま（青少年育成地域連携事業） [新規]

青少年が自らが活動している団体や青少年の健全な育成を推進している団体と連携し、日ごろの活動の発表の場として行うイベントや作品の展示会、品評会などに対して、期間を定めて施設の無料開放を行いました。

事業名	青少年の城 ふくしま
対象者	NPO法人や子供会、学校のクラブ活動やサークルなど 青少年に有益な活動をしている団体であれば可。
主な内容	○ロビーや研修室、体育館などでの作品の展示などを行いました。 参加団体 2団体

(6) 子育て支援事業

○子育てファミリー支援事業（ファミ割） [新規]

県内の子育て世代のファミリーが、当館に宿泊する際「ファミたんカード」を提示することにより、宿泊料金の優遇措置を受けることができる制度を導入し。子育て支援の一助となるよう「子育てファミリー支援事業」を行いました。

事業名	子育て支援ファミリー事業
対象者	子どもと同伴で宿泊する保護者で、ファミたんカードを提示した人
主な内容	ファミたんカードの提示により通常大人の宿泊料4,104円を青少年料金を適用し、2,592円とする。(1,512円の割引) ※他県の同様のカードも適用することとする。 宿泊料割引適用者 14名

(7) 関係団体連携強化事業

当会館を利用して研修や合宿を実施する団体のプログラムが効果的・効率的に運営できるようサポート、援助するとともに、入居している青少年育成団体の活動が一層促進されるよう側面から支援しました。

① 研修・合宿の青少年団体

利用者のニーズに合わせた施設の確保・設備の予約など行い研修を円滑に進める

ことができるように協力しました。

② 福島県青少年団体連絡協議会

当会館の建設運動の母体となった福島県青少年団体連絡協議会は、福島県内に組織を有する各種青少年団体の連合組織であり、これからの青少年活動を展開する上で、中心的な団体であることから、連携を深めながら青少年活動を推進しました。

また、当協議会加盟団体のミーティングなどには、当館研修室を開放するなどの支援をしました。

③ 福島県青少年育成県民会議

県内の青少年育成推進の中核をなす「福島県青少年育成県民会議」との連携を一層強化し、青少年健全育成活動の充実を図りました。

特に、「青少年健全育成セミナー」などの事業を共同開催し、同県民会議のネットワークを活用した青少年育成活動の実施、各地域への情報提供などを連携して進めました。

また、同県民会議に対しては、一体となって活動するための人的支援や当会館使用料の減免等財政的支援も行いました。

④ 入居団体等の各種青少年関連団体

当会館の入居団体（ボーイスカウト福島連盟、ガールスカウト福島県支部、福島県PTA連合会、福島県高等学校PTA連合会、NPO法人福島県レクリエーション協会）をはじめ、各種青少年団体やNPO法人、教育関係団体が実施する青少年育成事業に対して、積極的に共催や後援を行うとともに、事業の参加者募集、活動紹介、活動報告等について支援してまいりました。

5. ふくしま結婚・子育て応援センター運営事業

結婚を望む人が結婚でき、誰もが安心して子どもを産み育てることのできる環境を整備するため、平成27年8月27日に、「ふくしま結婚・子育て応援センター」を設置し、結婚から子育てまでを応援する各種事業を実施いたしました。

(1) 相談業務

「妊娠・出産」、「子育て」、「結婚」相談を、電話・面談・メールにより直接相談に応じたほか、必要に応じて関係専門機関と連携を図りながら対応いたしました。

事業名	結婚、妊娠・出産、子育て相談
-----	----------------

対 象 者	一般県民		
主 な 内 容	相談日	結婚分野	土曜日
		妊娠・出産分野	火曜日
		子育て分野	水～金曜日
	センター利用件数	434件	
	うち	結婚分野	312件
	妊娠・出産分野	80件	
	子育て分野	42件	

(2) 「世話やき人」の養成、管理、研修

結婚、妊娠・出産、子育てについて助けを必要とする方々を支援するため、様々な支援をボランティア活動で行う「世話やき人」の養成等を実施いたしました。

事 業 名	「世話やき人」の養成、管理、研修		
主 な 内 容	世話やき人実人数	34人	
	世話やき人延べ人数	55人	
	(内訳) 結婚分野	31人	
	妊娠・出産分野	9人	
	子育て分野	15人	
	世話やき人研修会	4回実施	参加者52人
	世話やき人情報交換会	4回実施	参加者14人
	結婚講座	5回実施	参加者45人
	世話やき人による成婚数	4組	

(3) 情報発信・提供

センターホームページを開設し、情報発信したほか、青少年会館2階に「情報コーナー」を設置し、県内における結婚から子育てまでに関する様々な情報（パンフレット、チラシ等）を提供いたしました。

・HPアドレス <http://fukushima-youth.com/ouen>

アクセス閲覧ページ数 135, 428ページ

(4) その他啓発事業

事 業 名	結婚・子育てポジティブ動画コンテスト	
主 な 内 容	募集期間	平成27年11月1日～平成28年1月3日
	応募総数	45作品
	審査会	平成28年1月29日
	表彰式	平成28年3月5日

	動画発信 平成28年3月5日～ センターホームページに掲載した。
--	-------------------------------------

事業名	縁結びスポットガイドブックの作成
主な内容	縁結びスポット発掘のためのアンケート調査の実施 アンケート依頼先 245ヶ所 ガイドブック作成検討委員会の開催 2回開催 40名参加 作成部数 15,000部 各市町村、青年会議所等に配布

事業名	出会い交流イベント
対象者	一般県民
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年12月13日 (郡山市) ・平成28年1月24日 (福島市) ・平成28年2月21日 (いわき市) ・平成28年3月6日 (郡山市) <p style="text-align: center;">1回につき定員30人で開催</p> <p>カップル成立数 23組</p>

事業名	「結婚から育児まで」職場環境づくりセミナー
主な内容	<p>期日 平成27年12月3日</p> <p>参加者 41人</p> <p>併せて福島県が制定した「ワーク・ライフ・バランス大賞」の表彰式を開催した。</p>